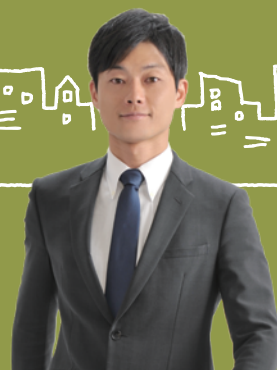


県政Walker

vol.23



兵庫県議会議員
なか た えい いち
中田英一

市民病院の統合再編計画について紹介させていただきます。
第353回 定例議会にて一般質問を行いました。

“市民病院の統合再編” って何のこと?!

全国的に公立病院の経営難、医師不足に起因する再編統合が進んでいます。市民病院の処遇は市の専権事項ですが、計画の内容や進め方について注視しつつ市民の目線で県政の側面から取組んで参ります。

背景

市民病院事業決算

平成29年	0.8億円
30年	0.5億円
令和01年	▲0.6億円
令和02年	12億円

財政悪化、建物設備の老朽化や医師不足にともなう医療サービスの低下が懸念されている

時系列

- 平成26年 医療資源の効率的な運用と増え続ける医療費の抑制を目的に「医療介護総合確保推進法(地域医療構想)」が成立
少しずつ不採算病院の統合再編が進む
- 令和元年9月26日 『424再編議論病院リスト』厚労省公表
名指しで列挙することで統合再編の検討にプレッシャー
●有利な交付金制度創設
三田市民病院は424リストには掲載されなかったが医療サービスの維持を目指し検討開始
- 令和3年6月 急性期医療確保検討委員会
↓
令和4年3月 「①現状維持案」「②診療科別連携案」「③機能別連携案」「④再編統合案」を検討
- 結論 ↓
令和4年3月25日 「両病院の中間」で「再編統合が最も望ましい」
報告 → 神戸市・三田市長へ
- 令和4年6月2日 基本方針発表



新病院 400~450床

候補地: 神戸市北区長尾町宅原

設置者 = 三田市

↓ 委託費

運営者 = 済生会病院

神戸市は財政支援

神戸市民の利用実績に応じた負担

主な統合理由

- ① 建物設備の老朽化
修繕費の負担増大
- ② 建替に有利な交付金
- ③ 医師確保に不可欠
大学病院(医局)の要請
- ④ 効率化による収支改善
- ⑤ 医療サービスの向上

主な懸念点

- ① まだ築後26年で現役
市内から公立病院が消滅
- ② 市費の持ち出しも多額
- ③ 大学病院からの医師派遣に
関する確約はない
- ④ 交通アクセスの悪化
- ⑤ 救急搬送が遅くなる

+プラス ナカタクの 懸念

- ・ 高度急性期医療(病床)が阪神北地域に不足
※県政課題→裏面へ
- ・ 市内から産科がなくなり子育て施策の後退危機
- ・ 新型感染症(パンデミック)に対応できるのか

今後の予定

- 令和6年度～ 新病院用地確保、
基本構想・基本計画策定
- 令和7年度～ 設計・工事
- 令和10年度～ 新病院開院

市民病院統合再編 にともなう 高度急性期病床不足対策



北神地域と三田市域の急性期医療確保に向けて両市が設置した検討委員会は、済生会病院（神戸市北区）と三田市民病院の「再編統合」「場所は両病院の中間地点が望ましい」と報告

実現すれば、阪神圏域（三田市）から三田市民病院の病床が神戸圏域（神戸市）に移転

「阪神北準圏域で不足している高度急性期病床について三田市民病院分がさらに減少する」という圏域県民の命に直結する決定が2市のみによって進められるという不合理が生じる



阪神圏域より北部の地域は概ね高度急性期病床が不足
安心安全の県民生活には不可欠であり広域医療行政を担う県の役割。

答弁（圏域間の調整は）両圏域の地域医療構想調整会議においても合意形成に向けて協議を進めていく。
（高度急性期病床は）国の助言や支援を得られる「重点支援区域」の申請、医療介護推進基金を活用した財政支援を行い、地域医療体制の強化を図る。

ひょうご フィールドパビリオン

関西万博から流れを引き込む 観光資源の連携・発信

「摂津・播磨・但馬・丹波・淡路」という歴史・風土の異なる個性豊かな“五国”が、それぞれ地域を豊かにする取り組みを行ってきた「活動の現場そのもの（フィールド）」を発信し、来訪者に体験してもらう「ひょうごフィールドパビリオン」を関西万博に合わせて展開します。



**地球
アトリエ
構想** 県立有馬富士公園内「風のミュージアム」横に1.5ha
約30億円を投じてアートセンター・アトリエ・カフェ
レストラン・劇場などを備える計画（現在中断）

意見

運営面で持続可能性の低い計画となっておりハコモノ事業としての見直しは賛成だが、万博を起点に観光の流れを取り込むことは重要。アクセスもよく開放的な空間の「地球アトリエ構想」は潜在力がある。特定の人物や団体ありきの制度・運営ではなく、若手芸術家も含めた幅広い県民や観光客が自然と芸術に触れ、交流が生まれる機会を創出できる拠点の整備に軌道修正し早急に進めるべき。

周辺の青野ダム関連施設と合わせてパビリオン候補に💡

その他、コロナによる生活や事業の困りごとなどなんでもご相談ください！

ご要望・お問い合わせはこちら
兵庫県議会議員
中田英一事務所

【平日：10時～16時】
三田市相生町 21-12
TEL + FAX (079) 509-0033
Mail: info@nacata.net



兵庫県議会会議録
令和4年6月定例会3日目



兵庫県議会議員 中田 英一
県政報告 WEB サイト

教員定数不足は 子供の学ぶ環境に直結する



2021年4月時点で公立小中高の 教員定数に2558人の欠員

教員志望者の減少、団塊の世代教員の退職に伴い新規採用が増え教員試験浪人生の講師登録者が減少したことが要因。

兵庫県でも5月時点で中学校、57人、小学校、22人の教員が不足。欠員分の業務負担は現場にのしかかり、さらなる多忙化、教員志望者の減少、ひいては未来を担う子供達の教育環境の悪化。

「#教師のバトンプロジェクト」は、文部科学省が現職教員に教職の魅力等を発信してもらおうと始めたが、実際は現場の厳しい状況が多く投稿され注目を集めた。

教職の魅力を高め欠員を生じさせない取組みが必要

兵庫県では

- ・令和3年度採用試験から非常勤講師の勤務経験を加点
 - ・講師登録制度を統一し学校のマッチングや登録者募集を強化
- それでも足りず、各市町教委や学校長などが退職者などに頼み込むなどしてかき集め、それでもまだ足りない場合がある。

有機と輸出 Agriculture

高付加価値農業の推進

コロナ禍・気候変動・途上国での人口爆発・ウクライナ侵攻等で世界の流通不安



=食を海外に依存することの危機[食糧安全保障]

農業の課題 自然災害・化学肥料や飼料の海外依存・生産者減少・高齢化

2021年5月農林水産省が「**みどりの食料システム戦略**」を策定
2050年までに化学農薬・肥料低減（有機農業拡大）、
食品製造業の労働生産性の向上など

※有機農業の目標値は0.5%から25%と**50倍**

=大胆な取組が不可欠

意見

取組を促すためには販売先の開拓が重要

県下の学校給食で有機米を提供
（1食分600万円程度の価格差）



メリット 子供達へより安全な食の提供。
子供を大切にす兵庫、農業大県兵庫のPR。

さらに中国などの日本米需要と健康志向の高まりに向けて
県産有機米の輸出を既にブランドを確立している神戸牛もあわせて進めるべき

答弁・詳細はWEBで！下記QRからご確認ください。